

JALと国交省を包囲し、 解決を決断させよう！

2023年3月7日、大手筋商店街（京都市伏見区）でJAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」が呼びかけ、「きょうとユニオン」、「自立労連」、「合同繊維労組」、「米軍Xバンドリーダー・基地反対・京都連絡会」、「9条ネット・滋賀」の皆さんなど、計15人にご参加いただきました。今回の宣伝行動にはJAL被解雇者労働組合（JHU）副委員長の小栗純子さんが参加しました。

小栗さんは「私は今から12年前の大晦日に日本航空JALの整理解雇という名目で解雇された。パイロット81名、客室乗務員84名、165名が解雇されたが、その争議団の一員である。現在、原告団の中心メンバーが闘い続けている。私たちは、日本航空そして国土交通省に対して、この解雇争議の自分たちの納得のいく解決を求めて闘っている。私たちの解雇はまったく必要のないものだった。日本航空は、もう12年前になるが経営破綻をした。解雇後に稲盛JAL会長（当時）は、記者会見や裁判で『経営上解雇の必要はなかった。』と述べた。



日本航空は社員の人数を減らしていったが、もう減らす必要がない、その言葉を稲盛会長（当時）が発言しているにもかかわらず、私たち165名をモノいう労働者を嫌って解雇した。日本航空は削減目標数に対して社員何名に達していたかさえ明らかにすることなく、私たちの整理解雇を強行した。

モノ言う労働者が職場から排除されるということは航空の安全上、問題がある。私たちは長年にわたり日本航空の空の安全、それを求めて会社に対し、改善すべきところは改善するように訴えてきた。そのようなモノをいう労働者を嫌って私たちの整理解雇をした。私はこのような



解雇は決して許されるべきではないと思っている。私たちの仲間、JAL被解雇者労働組合、JAL争議団35名は現在も納得のいく解決を求めて、日本航空に対し、国土交通省に対して解決を求めてこのように運動している。解雇自由な社会は決して許さない、その一つを私たちは実行に移したい。皆さんと共に解雇自由な社会は許さない、そのような思いで今日も訴えをさせていただいている。どうかご理解とご支援をお願いします。」と訴えました。



自立労連のFさん、きょうとユニオンのOさん、京都の会会員のIさんもマイクでアピールしていただきました。

宣伝していると話かけてくる方も多かったです。



小栗さん（JHU）の参加報告（JAL 不当解雇撤回争議団の facebook から）

2023年3月7日

まだまだ商店街の良さの残る京都伏見大手筋。亡くなった元稲盛会長のお膝元です。

「JAL 闘争を支える京都の会」定例宣伝に主催者を含む14名の支援者がお忙しい中、今回も駆けつけて下さいました。

商店の方からも「頑張ってください」と声をかけて頂いたり、買い物客からは「沈まぬ太陽の会社やね」と。商店街をお練りする宣伝は私自身は今回が3回目。他ではありません。弁士としては少し照れくさいですが、道行く方達とお話をしながら歩くのは、町と一体になれたようで、この場所ではとても良い宣伝だと感じました。



次回 宣伝行動	(呼びかけ JAL 闘争を支える京都の会)
4月11日(火)	午後2時~3時 伏見・大手筋商店街